



### やけど

梅雨の時期になり、ジメジメした日が続いていますね。  
雨が続きと室内で遊ぶことが増え、目を離れた際に危険な場面になってしまったりやけどを負ってしまうこともあるかもしれません。  
そんなもしもの時に私たちはどう予防し、対応すれば良いのでしょうか？

どこに危険が潜んでる？

### やけどになる落とし穴



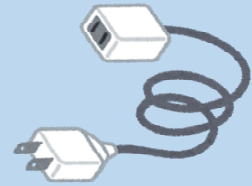
#### ⚠️ コードを引っ張る危険

もしかしたら電気ケトルで湯を沸かしていたりアイロンを温めている時にコードを引っ張ってしまうかもしれない。



こうしよう…

コードを引っ張れない位置に置くか、ケトルを使ったら残ったお湯はなるべくすぐに捨てましょう。



#### フライパンの取っ手を引っ張る危険

もしかしたらフライパンの取っ手を子どもが引っ張りフライパンを落としてしまうかもしれない。



こうしよう…

フライパンの取っ手は触れない所に移動させよう  
キッチンには入れないようにガードしましょう。



#### 高温の食べ物を引っ張る

もしかしたら味噌汁、コーヒーなどを知らないうちに触ってしまうかもしれない。



こうしよう…

触れない場所に置くかテーブルクロスはなるべく控えましょう。  
また、冷めてからテーブルに出すのもいいですね。





# もしもやけどをしてしまったら どうしたらいい？



やけどを  
してしまった



とにかくすぐに冷やす  
※流水で水圧を弱くする

服の下をやけどした場合  
服の上から流水で冷やしてく  
ださい。  
(脱衣時に皮膚が剥れてしま  
うかもしれない為)

状態がよくてもしばらく  
様子を見ましょう  
悪化していれば再度  
受診しましょう

・範囲が小さく赤くなっ  
ているだけ  
・子どもが落ち着いている



・手や足のやけど  
・陰部  
・水ぶくれになっている



・やけどの範囲が大きい  
・顔面のやけど  
・皮膚の色が白くなっているなど

自宅で様子を見ましょう  
やけど部分が紫外線に  
当たらないようにしましょう。

かかりつけ医に相談し  
冷やしながら急いで  
受診しましょう。



落ち着いて  
救急車を呼びましょう



小さい子どもは冷やしすぎることで体温が低下  
し低体温になる可能性がある為保温をしながら  
やけど部位を冷やして病院にいきましょうね。



目や耳など流水で冷やせない  
場合は、氷や保冷剤を包んだ  
冷たいタオルで冷やしましょう。



※心配な場合や判断に迷う時には早期に、病院を受診されることをおすすめします。

津市では24時間体制で救急、健康に関することや育児、介護、メンタルヘルスなどの電話相談を受け付けています。こちらを利用されるのもいいですね。  
詳細は市役所のHPを見てみてくださいね。

